

活動団体名	徳之島地区自然保護協議会
所在地	鹿児島県大島郡徳之島町亀津7203
団体の目的	徳之島に生息する野生動植物が、世界的に見ても貴重な財産であることから野生動植物の保護を図り、後世に継承していく為に関係行政機関と諸団体等が連携し、総合的な自然保護を推進することを目的とする。
活動地域	鹿児島県徳之島(徳之島町・天城町・伊仙町)
地域循環共生圏を活用して目指す地域の姿	生物多様性保全に配慮した農業の推進と支援、世界自然遺産登録を契機とした徳之島世界自然遺産ブランドの確立により、農産物等の高付加価値化を目指す。
地域の現状・課題	徳之島は、奄美大島や沖縄島北部および西表島とともに令和2年夏の世界自然遺産登録を目指している。しかしながら、世界自然遺産登録候補地ブランドを活かした特産品やサービスは比較的少なく、地域ブランドの確立やPRが今後の課題となっている。 このほか、近年では希少動物による農作物の食害被害の発生が増加するなど、農業振興と希少野生生物保護の両立が大きな課題となっている。
地域が持つ資源	自然資源(アマミクロウサギ等の希少野生動物・照葉樹林の豊かな森など) 農業資源(サトウキビ・バレイショ・タンカン等の亜熱帯性気候を活かした農産物)
取組内容	島内生産物・加工品のブランド化にあたり、地域コンソーシアムを立ち上げ、ブランドロゴマークの制定や認証制度を創設する。 付加価値のついた農産物等の販売で得た利益の一部を自然保護活動や環境教育等に拠出することにより、希少野生生物と共存した地域づくりを実現し、地域における持続可能な利益の循環を図る。
地域循環共生圏を 実践することで 想定される効果	(環境)自然体験イベントの実施や環境保全型農業の普及により、自然保護活動の推進を図る。 (経済)地域循環共生圏の取組み(遺産ブランド)を広く普及することで、農産物等の販売促進→生産者・製造業の利益増→より良い品質作りを推進する。 (社会)遺産ブランド品の購入により、島内の誰もが自然保護活動に協力できる仕組みを構築する。これにより、住民が地域の魅力や課題に興味を持つことが期待でき、社会貢献に向けた住民意識を醸成する。